

平成28年 7月12日

各大学長  
各大学農学部長 殿  
各大学工学部長  
各関係機関長

弘前大学教育研究院自然科学系長  
橋 本 勝  
(公印省略)

### 食品物性学分野教授の公募について (依頼)

時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、このたび本学系農学・生命科学領域では、下記要領により食料資源学科食品物性学分野の教授を公募することになりました。つきましては、関係各位に周知下さいますようお願い申し上げます。

なお、本件は、農学生命科学部ホームページの教員公募情報(<http://nature.cc.hirosaki-u.ac.jp/stafflist/koubo/>)にも掲載しております。

#### 記

- (1) 所 属 自然科学系 農学・生命科学領域
- (2) 専任担当 農学生命科学部食料資源学科
- (3) 公募条件
  - 1) 専門分野 食品物性学
  - 2) 応募資格 次の要件をすべて満たす者
    - ①博士の学位を有する
    - ②教育上の実績と、原則として著書及び学会誌またはこれに準ずるものに掲載された原著論文・総説を20編以上有する
    - ③最近5年間に公表された同様の業績を5編以上有する
    - ④大学院博士課程前期・後期課程において主指導教員として教育研究指導ができる者
- (4) 必要書類
  - 1) 履歴書(高等学校卒業以後の履歴を記載したもの)
  - 2) 研究業績目録(業績の区分、記載方法については、ホームページを参照してください)
  - 3) 研究業績目録に記載された著書、原著論文、総説のうち主要なもの20編以内の別刷又はコピー
  - 4) 3)のうちの5編以内について、各編の学術的意義に関する簡潔な説明書
  - 5) 教育業績書
  - 6) 地域連携・社会貢献に係わる業績説明書
  - 7) 学会および社会における活動状況の説明書  
(所属学会における活動および公的機関の委員会専門委員などの社会における活動について記載してください)
  - 8) 従前の研究活動の特徴と今後の教育および研究に対する抱負を述べたもの(それぞれ2,000字以内)

※必要書類中1)、2)、5)、6)は所定の様式に記載して下さい。

様式は、農学生命科学部のホームページからダウンロードして下さい。

書類に不備がある場合でもそれに基づいて審査が行われます。不備が多いのは研究業績

目録です。記載の仕方に十分にご注意ください。

(5) 応募期限 平成28年 9月16日(金)(書類必着)期限を過ぎた応募は受けません。

(6) 採用予定日 平成29年 4月 1日(土)

(7) 応募書類の提出先

〒036-8561 弘前市文京町3 弘前大学農学生命科学部総務グループ(総務担当)宛  
※封筒に「教員応募書類(食品物性学分野教授)」と朱書きし、簡易書留、レターパック、宅配便、国外からはEMSなど、送付記録の残る方法で送付して下さい。

(6) 問い合わせ先

〒036-8561 弘前市文京町3 弘前大学農学生命科学部総務グループ(総務担当)  
電話 (0172) 39-3748 FAX (0172) 39-3750  
E-mail jm2745@hirosaki-u.ac.jp

【付記】

1. 食料資源学科には、教育コースとして食料バイオテクノロジー、食品科学、および食料生産環境の3コースがあります。今回の公募は食品科学コースの専任担当教員です。
2. 食料資源学科は、安定的・持続的な食料生産に役立つ技術の開発、バイオテクノロジーを用いた新世代作物などの開発、および保健機能を持つ食品素材の食品への安全な応用などの研究に取り組んでいます。
3. 今回公募する教員の担当予定授業科目は、教養教育科目(基礎ゼミナールなど)、学部専門教育科目(食品物性学、食品官能評価法、食品加工学実習、化学の基礎C、食の機能・安全科学、食料資源学演習Ⅰ・Ⅱ、専門英語、海外研修入門、食料資源学専門実験、卒業研究など)、および大学院修士課程授業科目(専攻分野の担当科目、研究方法論、特別研究、特別演習など)です。これらの科目の中には複数の教員による分担も含まれます。ただし、大学院における専門科目の授業を英語でできる方を望みます。
4. 今回公募する教員には、食品のレオロジーや官能検査に関する研究や実務経験を有し、主にレオロジー的性質の制御改変による新規な食品の開発に関する教育と研究ができる方を望みます。また、積極的に地域の企業等と交流を図り、地域に貢献する教育研究を推進する意欲のある方を望みます。
5. 食品科学コースは地域食資源の高付加価値化と食品製造業の発展に貢献する人材を育成することを目的とし、「食品加工学実習」を新設しました。食品物性学分野の教員には食品の製造加工経験のある方を望みます。
6. 農学生命科学部は、岩手大学、山形大学および帯広畜産大学とともに博士課程大学院(岩手大学大学院連合農学研究科)を構成しており、採用者は連合農学研究科教員となる資格審査を経て博士課程の学生を指導することになります。
7. 選考の過程で面接や研究・教育・社会貢献に関する発表をお願いすることがあります。その場合、旅費は応募者の負担となります。
8. 採用後の給与については、弘前大学で規定する年俸制が適用されます(ただし、任期付きではありません)。

【備考】

1. 弘前大学は男女共同参画を推進しています。業績及び資格等に関わる評価が同等と認められる場合には女性を優先的に採用します。面接時の交通費支援を含む支援策については、男女共同参画推進室ホームページ(<http://www.equ.hirosaki-u.ac.jp/equality/>)をご覧ください。
2. 弘前大学では、外国人の方の積極的な応募をお待ちしております。
3. 弘前大学では、担当の授業科目が教職課程認定科目に相当する場合、所属が「自然科学系農学・生命科学領域」の他に、「教員養成部門」にも所属することになります。